

日時/会場	題目	座長	座長および話題提供者
【研01】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E201教室	「2016年熊本地震が突き付けた課題」 地震工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/eec2/	座長 池田隆明 庄司 学 吉見雅行 話題提供者(予定) 香川敬生 橋本隆雄 荒木功平 松崎 裕 梶田幸秀	長岡技術科学大学 筑波大学 産業技術総合研究所 鳥取大学 国士舘大学 山梨大学 東北大学 九州大学
【研02】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E202教室	「土木を変える～ポスターセッションで振り返る若手PUの3年間～」 土木学会 企画委員会 若手パワーアップ小委員会 http://committees.jsce.or.jp/kikaku03/	座長 片山範孝 話題提供者(予定)	若手パワーアップ小委員会委員長 若手パワーアップ小委員会委員
【研03】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E208教室	「公共事業における木材利用」 木材工学委員会 木製建設資材に関する研究小委員会 http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/	座長 木村礼夫 話題提供者 藤藤 森生 鈴木 一浩 中山 卓 原 忠 平沢秀之	ジェイアール総研エンジニアリング 木製建設資材に関する研究小委員会委員長 北海道水産林務部林務局林業木材課 丸善木材株式会社 株式会社シーエス・インスペクター(南海電鉄) 高知大学 函館工業高等専門学校
【研04】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E214教室	「膨大な点検データと性能評価の齟齬をどうする！」 複合構造委員会 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/	座長 渡辺 忠朋 話題提供者 松本 高志 内田 慎哉 土屋 智史 湧田 雄基 他2名調整中	北武コンサルタンツ 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会委員長 北海道大学 立命館大学 コムスエンジニアリング 北海道大学
【研05】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E301教室	「極端災害事例から学ぶ気候変動適応の課題」 水工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/	座長 中北英一 話題提供者(予定) 中津川誠 矢野真一郎	京都大学防災研究所 室蘭工業大学 九州大学 他調整中
【研06】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E308教室	「土木工学におけるスパースモデリングの可能性」 応用力学委員会 http://committees.jsce.or.jp/amc/	座長 珠玖隆行 話題提供者(予定) 大関真一 西村伸一 吉田郁政 珠玖隆行 山本真哉	岡山大学 東北大学 岡山大学 東京都市大学 岡山大学 清水建設
【研07】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E310教室	「維持管理・更新・マネジメントに関わる新技術の開発と活用拡大を考える」 土木学会SIP インフラ連携委員会 http://committees.jsce.or.jp/opcet_sip/	座長 藤野陽三 話題提供者 調整中	SIP インフラ プログラムディレクター SIP インフラ技術開発実施機関・地域実装支援チーム、国土交通省・自治体等
【研08】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 E311教室	「気候変動環境下における北海道の地盤災害対応と社会基盤整備」 地盤工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/jiban/	座長 石川達也 話題提供者 安原一哉 山田朋人 今 日出人 石川達也 前田 健一 西村 聡	北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授 茨城大学名誉教授 北海道大学大学院工学研究准教授 北海道大学大学院工学研究准教授 北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授 名古屋工業大学大学院工学研究科教授 北海道大学大学院工学研究准教授
【研09】 8月29日(水) 13:00-15:00 高等教育推進機構 N304教室	「インフラメンテナンスへのロボット技術の展開～修繕工事の生産性向上～」 建設用ロボット委員会 http://committees.jsce.or.jp/robot/	座長 建山 和由 話題提供者(予定) 国土技術政策総合研究所または土木研究所 道路事業者 鉄道事業者 道路工事関連企業 ライフライン 関連企業 (現在調整中)	立命館大学理工学部教授、建設用ロボット委員会委員長 国土技術政策総合研究所または土木研究所

日時/会場	題目	座長および話題提供者
<p>【研10】 8月29日(水) 13:00-15:00</p> <p>高等教育推進機構 大講堂</p>	<p>「生産性および品質向上のためのコンクリート工学を目指して(その2)」</p> <p>コンクリート委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/</p>	<p>座長 中村光 名古屋大学, 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会 委員長 (前掲)</p> <p>話題提供者(予定) 中村光 東北大学, 鉄筋定着・継手指針改訂小委員会 委員長 久田真 土木研究所, プレキャストコンクリート工法の設計施工維持管理に関する研究小委員会 委員長 渡辺博志 東京理科大学, 締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術研究小委員会 委員長 加藤佳孝 人選中 国交省関連</p>
<p>同じテーマにて2年前にも研究討論会を開催したが、その後コンクリートライブラリー148「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」が発刊され、その成果の一部はコンクリート標準示方書や国交省のガイドラインにも活かされている一方、新たな課題が明らかになったのも事実である。この現状を踏まえ、生産性向上に関するコンクリート委員会における現在の取り組みについて各小委員会の委員長から紹介するとともに、コンクリート工の更なる効率化、簡素化の展開をはかった上で、なおかつ品質を向上させるために解決すべき課題を提示し、今後の方向性、展望について討論する。</p>		
<p>【研11】 8月29日(水) 13:00-15:00</p> <p>情報科学研究棟 A22教室</p>	<p>「大都市中心部における地下空間の果たす役割～札幌中心部エリアネットワークの現状と将来展望～」</p> <p>地下空間研究委員会 http://committees.jsce.or.jp/ousr/</p>	<p>座長 松井直人 三菱地所株式会社顧問 (元国土交通省大臣官房技術審議官)</p> <p>話題提供者 高森義憲 札幌駅総合開発(株) 常務取締役施設管理本部長 宮古康宏 (株)札幌都市開発公社 営業部長 内川亜紀 札幌駅前通まちづくり(株) 総括マネージャー</p>
<p>札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」は、大都市地下空間開発の成功事例としてこれまで数多く紹介されてきた。札幌における地下空間利用のはじまりは、1972年の札幌冬季オリンピックに合わせて整備された市営地下鉄南北線とオーロラタウン・ポールタウンの両地下街であった。この地下空間の出現により、積雪寒冷地である札幌中心部における人々の活動の大きな支えとなった。さらに「チ・カ・ホ」の開通により、札幌駅から、大通り、すすきのまでの地下歩行空間の骨格が形成され、今後、まちづくりの大きな基盤として周辺の民地とのネットワーク化が期待されている。現在、札幌駅に新幹線が乗り入れるべく工事が進められており、本州との幹線交通ネットワークと結節される。さらにインバウンドの増加と将来の冬季オリンピック誘致計画など、これまで以上に札幌を取り巻く都市活動のポテンシャルが大きくなると予測され、これらの受け皿の都市基盤として「チ・カ・ホ」の重要度は増すと考えられる。</p>		
<p>【研12】 8月29日(水) 13:00-15:00</p> <p>情報科学研究棟 A31教室</p>	<p>「環境システム研究の社会実装に向けて～北海道の地域循環共生圏とは」</p> <p>環境システム委員会 http://committees.jsce.or.jp/envsys/node/74</p>	<p>座長 石井 一英 北海道大学大学院工学研究院教授 環境システム研究レビュー小委員会委員長</p> <p>話題提供者 藤田 壮 国立環境研究所「地域循環共生圏を実現する環境システム学」にむけて 齊藤 修 国連大学「環境システム研究を通じたSDGsの社会実装」 松井 孝典 大阪大学大学院工学研究科「AIと環境システム」 石井 一英 北海道大学大学院工学研究院「環境システム委員会研究レビューと北海道の環境への貢献」</p>
<p>本研究討論会では、環境システム研究が実社会においてどのような貢献ができるか議論したい。特に、循環型社会形成推進基本計画で唱われている「地域循環共生圏」、国際社会で2015年に合意された持続可能な開発目標(SDGs)の達成への貢献に向け、2018年4月に閣議決定された第五次環境基本計画ではSDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化することが明記されている。また、人工知能(AI)などの新規技術の活用可能性が増していることから、AIを活用した社会持続可能な社会への転換について検討する。そして、環境システム研究レビュー小委員会で行っている2000年からの環境システム研究論文の俯瞰的・包括的なレビューの中間報告を踏まえ、北海道の未来社会について検討したい。以上、本研究討論会を通じて、環境システム研究が社会貢献すべきテーマについて討論する。</p>		
<p>【研13】 8月29日(水) 13:00-15:00</p> <p>情報科学研究棟 A13教室</p>	<p>「土木と観光 in 北海道」</p> <p>土木計画学研究委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtml</p>	<p>座長 太田恒平 トラフィックブレイン 代表取締役社長</p> <p>話題提供者 清水哲夫 首都大学東京大学院 都市環境科学研究所観光科学城 教授 後藤靖子 九州旅客鉄道 常務取締役 原文宏 北海道開発技術センター 理事 (調整中) (北海道内観光事業者)</p>
<p>土木のハード・ソフトインフラの充実、観光分野において来訪者の満足度や需要促進のカギを握る存在である。しかし今の土木はその期待に応えているだろうか？人の興味をかき立て試行錯誤しながら集客を競い合う観光分野は、行動を観測・モデル化した上で需要を予測し合意形成しながら供給課題を長期的に解決していくような、行政・土木・科学的なアプローチと相性の悪い面がある。そこで本討論会では、北海道で展開する観光産業、インフラ自体を観光資源化する土木観光、整備新幹線や豪華列車などの鉄道、観光データ分析の各分野の登壇者から土木分野への期待を投げかけながら、土木と観光の共栄のあり方について再考する。</p>		
<p>【研14】 8月29日(水) 13:00-15:00</p> <p>情報科学研究棟 M151教室</p>	<p>「準天頂衛星がみちびき土木・測位の未来」</p> <p>土木情報学委員会 http://committees.jsce.or.jp/cceips/</p>	<p>座長 黒台昌弘 安藤ハザマ技術研究所 (調整中) 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システム戦略室</p> <p>招待講演者 佐田達典 日本大学理工学部教授</p> <p>話題提供者 岡本 修 茨城工業高等専門学校 国際創造工学科教授 ※小委員会委員より、測量会社、建設会社、受信機メーカーから数名</p>
<p>近年の建設工事では、調査業務の効率化のためのGNSS端末の普及が進み、MC/MGに代表される情報化施工でも測位データが活用される等、多くの場面で衛星測位技術が基幹技術となっている。このような中、我が国の準天頂衛星「みちびき」は2010年度の初号機に続き、2017年度に3機の衛星が打上げられ、2018年度に4機体制での運用が開始される。「みちびき」の本格的な運用が、我々土木技術者が担う業務を大きく変革してくれるとの期待が高まっており、具体的な活用方法が検討され始めた。そこで本討論会では、みちびきと既存のGNSS衛星とを組み合わせることによる効果について、特に、生産性向上の観点から広く議論を行う。</p>		